



地域とともに歩み、
地域の未来を拓く学校

湖南省立石部小学校
校報第151号
令和4年(2022年)2月15日
文責：校長 法山 由紀子

石部小学校から発信！！ ～5年生「未来の環境を守る行動宣言」～

「未来の環境を守る行動宣言」

★「琵琶湖の環境とわたしたちの暮らし」について学習したことで、工業の発展や経済の成長以外にも大切なことが「環境」ということがわかった。なんで環境が大事なのかは、次の世代や自分の世代が住み続けられる暮らしにするためだ。

だからこそ、私、青木凜桜は、資源を大切に、ゴミを分別してゴミ箱に捨てたり、エネルギーを節約したりして、自分の生活の中で環境に貢献することを宣言します。
令和4年2月8日

★学習する前より、環境について考えたり、びわ湖やその他の川などの環境を守るために何か自分にできることがないかなと思ったりしました。

だからこそ、私、関 亜衣梨は、いらぬものを買ったりもらったりしない。もし、買ったりもらったりしたら、最後まで使い切ることを宣言します。
令和4年2月8日

5年生は、2月21日(月)に「びわ湖フローティングスクール」で学習船「うみのこ」に乗船します。学習の舞台となる「琵琶湖」は、まさに「母なる湖」。私たち滋賀県民の宝であり、誇りです。

フローティングスクールに向けて、総合的な学習の時間(石部小では「あぼしの時間」)に、「琵琶湖」に続く地元「宮川」について、石部西区井上静雄様をゲストティーチャーに招いて学習をしました。さらに、フローティングスクールの先生方に出前授業をしていただき、事前学習を積みました。その中で、琵琶湖が今から約40年前に、赤潮やアオコが大量発生し水質が悪化したお話も伺いました。(私が、中学・高校生の頃です。)

そこで、5年生は社会科の学習をとおして「約40年前、なぜ琵琶湖の水質が悪化してしまったのだろうか。」「琵琶湖の水質は、どのようにして改善されたのだろうか。」について、毎時間さまざまな資料に基づいて、その原因や人々の思い、行動を考えることで自分の思いも深めてきました。

そして、このような一連の学習を踏まえ、社会の一員として琵琶湖の環境保全について、自分達にできることをまとめました。それが、「未来の環境を守る行動宣言」です。学習を深めたからこそ、この宣言に行き着きました。力強い思いを石部小学校から発信します！



6年生から緊急告知！！ ～「石部小笑顔満開プロジェクト」を発信します～

6年生は、「あぼしの時間」に、9月から「笑顔満開プロジェクト」と題して「いじめ」「人権」について、これまで5か月間とことん追求してきました。いよいよ最終段階に入り、「発信」の取組を展開します。卒業直前になりますが、次号ではその様子をお伝えします。

令和3年度「湖南省の小さな詩人たち事業」入賞作品決定！

今年度の標記事業において、石部小学校から次の2作品が入賞しました。
作者の思いや情景を想像しながら、味わって読んでみてくださいね。

【小学校1～3年生「五七五部門」佳作】

あかとんぼ かぜでとどくに いっちゃんか 石部小学校 1年 出口 悠音

【小学校4～6年生「五七五部門」佳作】

くりおちて 木々はこう葉 ぼくはここ
この秋の中に ぼくは生きてる

石部小学校 5年 泉 祐成